

ラテンアメリカ・カリブ研究所通信

ラテンアメリカ・カリブ研究所長 浜口 伸明

ラテンアメリカ・カリブ研究所はラテンアメリカ協会が調査研究活動を行う内部組織であるとともに、ラテンアメリカ研究を志す若手研究者に研究成果を報告する場を提供することを目的としています。研究成果は「研究所レポート」(ILAC シリーズ)として、ラテンアメリカ協会ウェブサイト内の研究所のページで公開されています。

このたび、貴重な研究成果をより多くの方に知っていただきたく、本誌の紙面をお借りして、これから毎号、最近公開された研究所レポートの内容など活動の様子を紹介させていただくことになりました。

最近公開レポートの紹介

2023 年に 12 本のレポートが研究所から公開されました。この中の 5 本は渡邊利夫氏により 1 月に連載が開始した「歴史から見るラテンアメリカのかたち」シリーズです。第 1 回は 15 世紀末以降のスペイン、ポルトガルとラテンアメリカの「出会い」が先住民に与えた受難と当時の世界に与えたインパクトから書き起こしたものです。第 2 回にスペインによる植民地期に形成されたラテンアメリカの基底ともいえる社会構造について、第 3 回に独立後もその構造は基本的に変わらなかったことについて論じています。第 4 回は旧スペイン植民地以外のブラジルやカリブに目を転じ、ラテンアメリカが多様性に富んだ社会であることを示しています。第 5 回は独立を果たした 19 世紀のラテンアメリカを当時のヘグモニー国家であったイギリスとの関係から捉え、一次産品供給者として国際経済に組み込まれた状況を説明しています。ラテンアメリカの歴史を学び直したい人は、この連載を通してお読みになることをお薦めします。

桑山幹夫氏が寄稿した 3 本のレポートの中で、「2030 年に向かって折り返し地点となる 2023 年時点でのラテンアメリカ・カリブ地域の SDGs 進捗状況」は、ラテンアメリカ・カリブ諸国による SDGs 達成の状況を示すとともに、目標達成に向けての行動や達成を加速するために必要な公共政策について解説しています。「ラテンアメリカは強固な重要鉱物サプライチェーンを築けるか」(上・下)は、(上) でラテンアメリカがいくつかの重要鉱物の産出で高い世界シェアを持っていることや資源をめぐる中国の動向について論じ、(下) では特にリチウムに焦点を当てて、「リチウム・トライアングル」と呼ばれるアルゼンチン、ボリビア、チリの 3 か国にブラジル、メキシコ、ペルーなどを加えて、リチウム生産におけるラテンアメリカの重要性と、各国の開発戦略を分析しています。持続可能な人類の発展について考えるうえで、ラテンアメリカの位置づけを知るために読んでおきたい論考です。

最近、日本とラテンアメリカの関係について議論すると、中国の存在が話題に必ず上ります。この点について、在ワシントン DC のホワイト和子氏のレポート「中国のコロナ収束後のラテンアメリカへの関心」は、米国からの視座を提供しています。中国が資源分野を中心にラテンアメリカと貿易投資関係を深め、一带一路協力や台湾との外交関係断絶に加わる国が増えています。ホワイト氏によれば、米国政府はこれを脅威と感じていますが、バイデン政権はウクライナやパレスチナ情勢に忙殺されており、ラテンアメリカに注力する時間も財的資源も限られています。そのような状況で中国への対抗や牽制を示しても効果がないので、米国はラテンアメリカにおいて中国と協力関係を構築する必要がある、と論じています。

さらに中国に関して、筆者が舛方周一郎氏と書いた「中国のラテンアメリカ研究事情 一東アジア・ラテンアメリカ研究協力対話・第 4 回国際会議から」は、ラテンアメリカに向ける中国では独自の視点をもってラテンアメリカに関する様々な教育研究プログラムが立ち上がっていますが、中国のラテンアメリカ研究者は世代交代に直面していることを報告しています。

最後に、浜端喬氏による「ジェンダー・ギャップ指数にみるニカラグアの立ち位置と現状」にもご注目ください。世界経済フォーラムが作成するジェンダー・ギャップ指数で見るとニカラグアはラテンアメリカ・カリブ諸国の中でも最も男女のギャップが小さい国と評価できます。しかし、浜端レポートは、それと人権弾圧を繰り返すオルテガ政権の姿の矛盾を指摘します。そこで、同指数を構成する 4 分野のうち経済、教育、保健に焦点をあて、オルテガ政権の取り組み及び現状を分析しています。

研究所の今後について

現在、研究所は調査研究活動と若手研究者支援を広げるべく、組織改革を進めています。まず、ネットワークを拡大してより多くの研究者や現地経験豊富な実務経験者にリサーチフェローとして研究活動に参加していただきたいというのが、改革の第 1 の柱です。第 2 に、将来ラテンアメリカ研究者になることを志して、大学院後期課程で学んでいる方や、留学あるいは在外公館の専門調査員として海外で頑張っている方を公募してリサーチ・アソシエートになっていただき、大学院修了後あるいは帰国後に研究成果発表の場を提供します。今後も研究所の活動にご期待ください。

(注) 研究所レポートについては、ラテンアメリカ協会ウェブサイトの「研究所」の項目でご覧になれます。また、右記の QR コードからもアクセスできます。



広告掲載のお願い

ラテンアメリカ協会では、年4回発行される本誌に広告を掲載してくださる広告主を募集しています。内外の皆様から国内唯一のラテンアメリカに関する専門誌として高い評価を得ている本誌を貴社の商品・サービスの広告媒体の一つとしてご活用いただければ幸いです。ご検討いただける場合には、協会事務局（info@latin-america.jp）までご連絡ください。

『ラテンアメリカ時報』への寄稿の募集

ラテンアメリカ・カリブ諸国・地域の最新の政治・経済・社会情勢等を解説する「ラテンアメリカ時事解説」欄等への寄稿を募集します。ご関心のある方は、当誌編集部（kihou@latin-america.jp）までご連絡ください。執筆要領等の詳細についてご連絡させていただきます。

『ラテンアメリカ時報』次号予告

次号2024年春号（2024年3月25日発行予定）の特集は、『「日・カリブ交流年2024」とカリブ諸国の今』（仮題）です。2024年は、日・カリコム（カリブ共同体）事務レベル協議開始後30年が経過した年であるとともに、日本とジャマイカ及びトリニダード・トバゴとの国交樹立60周年にもあたります。これを記念して2024年を「日・カリブ交流年2024」とし、日本とカリコム諸国の交流を深めることを目的とした記念事業が日本及びカリコム諸国で実施されます。

この機会を捉えて、特集においては、日・カリブ交

流年の狙い、日本とカリブ諸国との政治・経済関係の現状と展望、カリブ諸国が直面する気候変動・防災等の課題に対する日本の協力、地域統合体としてのカリコムの現状と課題などに加え、カリコムのリーダーを自認するジャマイカ、石油・天然ガスを国力の源とするトリニダード・トバゴ、新たな油田開発で成長著しいガイアナ、金融と観光で発展するバルバドス、治安悪化と難民流出が続くハイチなど国別の動向についてもお伝えします。



一般社団法人 ラテンアメリカ協会 新規会員募集中

- ☆ラテンアメリカの今を知りたい
- ☆ラテンアメリカとのビジネスを広げたい
- ☆ラテンアメリカのアミーゴの輪に加わりたい

そのような方々を歓迎します！

ラテンアメリカ協会は、1958年（昭和33年）、日本とラテンアメリカ・カリブ諸国との相互理解と友好協力関係の促進を目的として設立。近年は、①ラテンアメリカに関する最新情報の集積や発信のセンターとして、②人的交流とネットワークの拠点として、多彩な活動を実施するとともに、③ラテンアメリカに関するシンクタンクとしての機能の充実も図っています。

会員の特典

◆ 講演会・セミナー等に会員価格で参加（オンラインは原則無料）

国内・ラテンアメリカ諸国の各界有識者による講演会、セミナー、ワークショップ等を対面又はオンラインで開催。

◆『ラテンアメリカ時報』（年4回発行）の無料入手

ラテンアメリカに関する最新の情報を現場感覚で紹介する、ラテンアメリカに関する日本で最も充実した定期刊行物。在外会員及び学生会員はウェブサイト上のデジタル版を閲覧可能。

◆ ウェブサイト上の会員限定の豊富な情報に無料アクセス

ラテンアメリカに関するわが国随一の総合的な情報サイト、会員限定の情報も豊富でデータベースとしても活用できる。

◆ 各種懇親・交流イベントに会員価格で参加

会員相互やラテンアメリカ関係者との交流やネットワーク拡大のための多彩なイベントを企画。

◆ 最新情報に関する定期メールマガジンを受信

ラテンアメリカに関する最新情報やウェブサイト新着情報などを月2回メールマガジンとして配信。

年会費（4月～翌年3月）

法人会員	70,000円（1口以上）
スタートアップ法人会員	35,000円（1口以上）
国別団体会員	10,000円（1口以上）
個人会員	10,000円
在外会員	5,000円
学生会員	1,000円（2024年4月より）

入会申し込み方法

入会申し込みは、下記QRコード又は協会ウェブサイト
<https://latin-america.jp/>からお願いします。

法人会員



個人会員





国境を超える あなたを応援します



<https://franchir-japan.com/>

資料請求・見積り無料

まずはお気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先: info@franchir-japan.co.jp

株式会社 フランシール

〒171-0031 東京都豊島区目白 4-19-27

TEL 03-6908-3671 FAX 03-6908-3672

『ラテンアメリカ時報』 通巻 1445 号 2023/24 年冬号

2024年1月25日発行

年4回(1,4,7,10月)発行

定価 1,250円

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル1階 120A

Tel: 03-3591-3831 Fax: 03-6205-4262

E Mail: info@latin-america.jp

ホームページ: <https://www.latin-america.jp/>

フェイスブック: 上記ホームページ下部からお入りください。

発行人 佐々木 幹夫

編集人 桜井 敏浩